

## 令和7年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	特 14		学校名	茨城県立鹿島特別支援学校										学校長名	小沼 博義					
教頭名	冬木 芳明			教頭名	沖 憲一郎			教頭名	三橋 秀彰				事務長名	小林 武男						
教職員数	主幹教諭	1	教諭	113	養護教諭	2	栄養教諭	1	常勤講師	43	非常勤講師	10	実習講師等	2	事務職員	4	技術職員等	16	計	192
児童・生徒数	部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	小学部	19	8	25	5	15	11	21	12	15	5	20	8	115	49	35				
	中学部	22	14	24	7	18	13							64	34	23				
	高等部	22	16	20	9	41	11							83	36	19				
計														262	119	77				

## 2 目指す学校像

- ◆元気に楽しく学べる学校
- ◆一人一人がよさを発揮できる学校
- ◆保護者、地域とともにある学校

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の安全確保と校内の整理・整頓、環境美化に向け、安全点検による破損や危険箇所の早期発見、事務室と連携した環境整備の徹底、報告様式改正による迅速な報告に努めている。</li> <li>・保健・安全指導の充実と医療的ケアの安全な実施に向け、傷病発生時対応マニュアルの見直しや、泊を伴う行事や災害時における医療的ケアの指示書・マニュアルの作成を行っている。</li> <li>・食に関する指導の充実と食物アレルギーへの適切な対応のために、学校安全委員会や給食委員会での情報共有を徹底し、ブログによる情報発信や給食試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検以外で発見された破損や危険箇所の速やかな報告と現状把握</li> <li>・傷病発生時の対応や報告方法に係る緊急時対応研修の実施</li> <li>・医療的ケア担当者の研修実施時期の検討</li> <li>・給食における食物アレルギー防止のダブルチェック・トリプルチェックの徹底</li> </ul>

<p>食会などで保護者に向けた食に関する理解推進を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理体制や防災教育の充実に向け、様々なパターンや時間帯での訓練の実施や、災害時引き渡しのフローチャートの作成とマニュアルの見直しに努めている。</li> <li>・いじめ防止基本方針の見直しや、いじめ早期発見チェックリストを活用した情報共有を実施することで、いじめの早期発見・早期対応に向けた体制の強化に努めている。</li> <li>・生徒指導の基本体制図やスペシャルサポートプログラム学習体制図の作成及び周知による支援体制を整備し、長期欠席児童生徒や生徒支援に係る課題への迅速・組織的な対応に努めている。</li> <li>・通学指導マニュアルや登校時の入校証を見直し、スムーズなスクールバス運行に向けた時刻表の表記と運行マニュアルの改善を行うなど、安全・安心な通学指導の強化に努めている。</li> <li>・出向・来校相談、体験学習による各種学校への相談支援、校内児童生徒への相談支援と支援会議を実施するとともに、小中学校のコーディネーターへの情報発信を積極的に行うなど、センター的機能の強化を図っている。</li> </ul> <p>・交流及び共同学習の回数や内容の充実を図り、学校運営協議会での熟議による地域の人材・資源を活用した学習活動を実践している。</p> <p>・Rokustagram、新聞掲載、学校HP、学校公開の工夫等で、積極的な情報発信を行っている。</p> <p>・働き方改革では、効率化を図るためのタイムマネジメントの実践による退勤時刻や定時退勤日の実践等で時間外勤務週 45 時間未満は達成できているが、職員の多忙感の軽減について継続して取り組む必要がある。</p> <p>・コンプライアンス確保では、全体や各部による研修、「意識していこうキャンペーン」の実施、不祥事防止に向けた校内ルール周知による意識の醸成を図ることで、風通しがよく、不祥事を見逃さない職場環境づくりに努めている。</p> <p>・ダブルチェックによる誤配付や、防止学校徴収金や諸帳簿の定期的確認による適正管理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食試食会の保護者参加率アップ</li> <li>・防災教育に係る体験的活動の工夫</li> <li>・防災備品のバリエーションの充実</li> </ul> <p>・各部の連携による課題の把握と情報共有</p> <p>・職員配置の見直しと長期欠席児童生徒への組織的な対応</p> <p>・号車担当者間の対応の共通理解及び全職員への運行ルールの周知徹底</p> <p>・トラブルが複数同時に発生した際の対応</p> <p>・高等学校のニーズの把握</p> <p>・体験学習の増加に伴う対応時間の確保と調整</p> <p>・特別支援教育地域連携協議会の実施</p> <p>・支援体制の人材確保と育成</p> <p>・実態や目的にあった学校間交流の精選</p> <p>・教育課程との関連</p> <p>・学校運営協議会に係る職員の理解推進</p> <p>・学校HPでのタイムリーな情報発信</p> <p>・更新スケジュールのチェックと管理</p> <p>・各自のタイムマネジメントの見直し</p> <p>・校務分掌組織及び会議の見直しと業務の平準化</p> <p>・定時退勤時間の再検討</p> <p>・当事者意識の高揚と、自分事としてとらえられるような効果的な研修の工夫</p> <p>・平時での危機管理に対する心構えと風土づくり</p>
--	---

<p>学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの柱に基づく年間指導計画の見直しと各部の教育課程改善を行っている。</li> <li>・単元デザインシートを活用した単元構想と深い学びにつながる授業づくりに取り組み、授業改善を推進している。</li> <li>・自立活動の研修会を実施するとともに、自立活動の「鹿特版流れ図」の作成に取り組んでいる。</li> <li>・キャリアパスポートを作成・活用しながら、自分の思いや考えをもち、友達の考えに触れながら思いを伝え合う学習の工夫に努めている。</li> <li>・学校行事や特別活動での児童生徒による企画・運営、作品展への出展や体育的な対外活動への積極的参加、集会活動での発表や表彰などをおして、児童生徒の自己有用感、自己肯定感の高揚に努めている。</li> <li>・講師を招聘した研修、学部研修、ICTミニ研修等々の校内研修の実施をすることで、専門性の向上やスキルアップに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画と個別の指導計画との関連性</li> <li>・内容のまとまりを意識した単元構想、各教科等の見方・考え方を働かせる授業づくりの実践</li> <li>・個々の課題に応じた自立活動の指導の充実</li> <li>・キャリアパスポートの活用の工夫</li> <li>・児童生徒の振り返りと評価方法の工夫</li> <li>・専門性の向上に向けた教員各自の研修目標の明確化</li> <li>・年間を通した希望研修の実施</li> </ul>
-------------	--	--

#### 4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒一人一人の学びを大切にし、よさを認め、伸ばす教育活動を推進する。</li> <li>2 生涯を通じて活力ある生活を送るための基礎となる、豊かな心、健やかな体を育む教育の充実に努める。</li> <li>3 保護者、地域とともにある学校づくりに努め、地域におけるセンター的機能を推進する。</li> <li>4 働き方改革を推進し、教職員が働きがいのある学校づくりに努める。</li> </ol>
--

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
○深い学びにつながる授業改善の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>①育成を目指す資質・能力（三つの柱）を踏まえた個別の指導計画の作成</li> <li>②単元のまとまりを見通した授業づくり</li> <li>③自立活動の指導の充実</li> <li>④授業改善につながる各部研究の推進</li> <li>⑤ICTの効果的活用と校内研修の実施</li> </ol>
○安心安全な環境と豊かな心、健やかな体の育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑥安全安心な教育環境の徹底と事故等の未然防止（自分事としてとらえる意識の向上）</li> <li>⑦自己有用感、自己肯定感を高める活動の工夫</li> </ol>

	⑧道徳教育の充実 ⑨文化的・体育的活動の充実
○地域とともにある学校づくりの推進	⑩センター的機能の強化（高等学校のニーズの把握） ⑪校内支援体制の充実 ⑫学校運営協議会を核とした地域と連携・協働した取組の推進 ⑬学校ホームページや学校公開等による積極的な情報発信 ⑭新しい鹿特と新校の開設準備
○重点項目・重点目標達成のための学校体制	⑮教職員の姿勢（専門性の向上・コンプライアンス意識の向上・人権の尊重・思いやりと感謝の気持ち） ⑯働き方改革の推進（業務改善・タイムマネジメントの見直し） ⑰鹿特コミュニティ・スクールの推進（地域の人材や資源を活用した取組の年間指導計画への位置づけ・計画的な情報発信）